

**製品名: ATAD2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84196**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.49mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	Calculated MW: 159 kDa ; Observed MW: 180 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATAD2
別名	ANCCA; Atad2; CT137; L16; PRO2000;;ATAD2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q6PL18
免疫原	ヒト ATAD2 由来の合成ペプチド

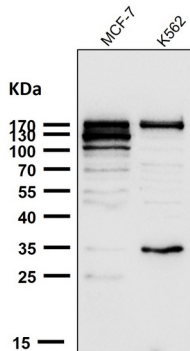
**背景**

CCND1、MYC、E2F1 といったエストロジオール標的遺伝子のサブセットの発現誘導に必要な核内受容体 ESR1 の転写共活性化因子

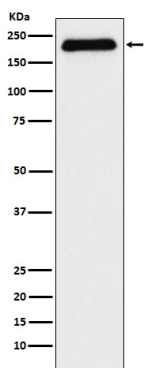
である可能性がある。一部の ESR1 標的遺伝子プロモーターにおける CREBBP のリクルートメントまたは占有に関与する可能性がある。ヒストンの高アセチル化に必要である可能性がある。乳がん細胞におけるエストロゲン誘導性の細胞増殖および細胞周期の進行に関与する。

## 研究分野

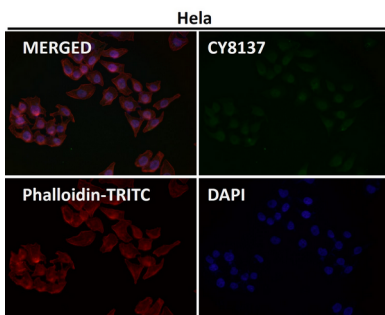
## 画像データ



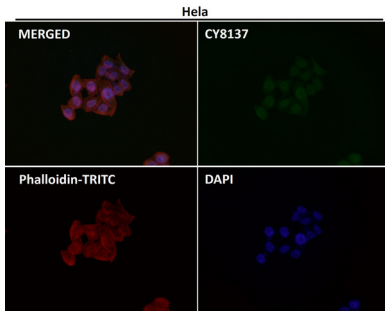
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



MCF-7 細胞溶解物における ATAD2 発現のウェスタンブロット解析。



1:150 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。



1:50 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。